

「自分の中にある偏見と向き合う」

子どもを守るために今、私たちにできること



～ネグレクト問題について考える～



平成28年6月25日(土)、ミリカローデン那珂川にて「第17回子育てフォーラム」が開催されました。講師は、福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授の奥村賢一さん。

「子どもを守るために今、私たちにできること～ネグレクト問題について考える～」をテーマに、国内の虐待に関する現状や、子どもへの関わり方などを分かりやすく講演していただきました。

困った子は
困っている子

多角的な視点で向き合う工夫をしよう！

私たちは、知らず知らずのうちに責任を子どもに押し付けていることがあります。“虐待”と言っても、目に見えるものだけではありません。

「ネグレクト」とは、児童の心身の正常な発達を妨げるような育児放棄(減食や放置など)の行為をいいます。

「子どもに偏った食事を与えてないか?」「子どもが育つ環境を意識しているか?」など、今一度、自身の子育てを振り返り親としての責任を考えて、子どもに接していくことが大切です。

「誰が悪い!」と責任を押し付けるのではなく、「自分に何ができるのか?」と前向きに考えて行動しましょう。

周囲の助けが
必要です!

虐待している「親」も、誰にも言えずに苦しんでいる!

子どもを虐待している親を、一方的に責めることはできません。子どもの虐待の原因は様々ですが、虐待する多くの親は、ひとりで苦しみ悩んでいます。

どうすることも出来ない環境が子どもへの虐待となって現れている場合もあります。社会の悪者として、地域から敬遠されてしまうと、一層社会から孤立してしまいます。そのような方にこそ、地域の方や周囲の皆様の助けが必要です。



知ってますか? 子どもの「スマホ」使用ルール



那珂川町教育委員会では、各小中学校全ての保護者に対し、携帯・スマホの家庭内での使用制限について協力を促しています。

- ① 使用時間を制限する。午後10時～午前6時まで使用を制限し、保護者で機器を預かる。
- ② “ながら”使用はしない。食事中、人と会話している時、勉強中、歩行中、自転車の運転中は使用しない。

東北大学「脳トレ」の川島隆教授 全国の中学生2万4千人の調査

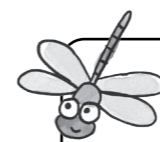


学習時間に関わらず、1日1時間以上のメディア(スマホ・ゲーム機等)使用で、

「成績が著しく低下する」という結果が出ています。

スマホ3時間以上使用で学習2時間以上の子は、スマホ1時間未満で学習30分

未満の子より「得点が低い」という結果も!



「檜原湿原植物観察会」及び「名護屋城跡歴史探訪」

平成28年7月23日(土)、子どもたち19人とスタッフ4人で「檜原湿原植物観察会」に行ってきました。ガイドの先生のとて熱心な解説に、参加者は真剣に耳を傾けていました。

「クロイトンボ」や、日本一小さな体長2cmの「八丁トンボ」を見つけると子どもたちは大歓声。自然と触れ合う楽しさを実感しました。

午後からは、幻の巨城「肥前名護屋城址」に行き、バーチャル名護屋城の再現を楽しむことが出来ました。最後に、波戸岬の海中展望塔で魚の生態を観察。盛りだくさんの一日でした。

